

ThinkVantage

Access Connections Version 4.0 プロファイル配布パッケージ作成/導入ガイド

日付: 2006年5月10日

第1刷 2006.5

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright Lenovo 2006.

Portions © Copyright International Business Machines Corporation 2005-2006.

All rights reserved.

まえがき

本書は、IT 管理者、または Access Connections™ ロケーション・プロファイルを組織内に配布する担当者を対象としています。本書は、Access Connections を複数の PC にインストールするために必要な情報を提供することを目的としています。同ソフトウェアのライセンスが各ターゲット PC で有効であることが条件となります。Access Connections は、管理者およびユーザーがアプリケーション自体の使用に関する情報を参照できるアプリケーション・ヘルプを提供します。

本書には、Access Connections で作業するための指示および解決法が掲載してあります。ご提案やご意見がありましたら、Lenovo™ 担当者にご連絡ください。TCO の削減に役立つテクノロジーの詳細、および本書の定期的な更新情報を確認するには、Web サイト <http://www.lenovo.com> をご覧ください。

目次

まえがき	iii
第 1 章 概要	1
機能	1
Access Connections のプロファイル配布に関する考慮事項	2
プロファイル配布の要件および仕様	3
Access Connections のプロファイル配布機能	3
第 2 章 Access Connections のインストール	5
Access Connections のサイレント・インストール	5
Access Connections のアンインストール	5
第 3 章 管理者機能を使用する	7
管理者機能を使用可能にする	7
管理者機能を使用する	8

第 4 章 Access Connections のプロファイル配布	15
新規 PC 上への配布	15
既存クライアント PC への配布	16
ロックされたプロファイルの削除	16
配布したプロファイルの更新	16
既存の PC 上の Access Connections のアップグレード	17
付録 A. コマンド行インターフェース	19
付録 B. 統合パッケージ	21
Access Connections 統合パッケージ	21
ディレクトリー構造	23
付録 C. 特記事項	25
商標	26

第 1 章 概要

Access Connections は、ワイヤレス LAN などさまざまなネットワーク接続の構成を援助する接続支援プログラムです。ユーザーは、ロケーション・プロファイルを作成し、管理できます。ロケーション・プロファイルは、自宅や職場など特定の場所からクライアント PC をネットワークに接続するために必要な、ネットワークとインターネットの構成設定値を保管するために役立ちます。モデム、有線ネットワーク・アダプター、ブロードバンド (DSL、CATV、FTTH など)、またはワイヤレス・アダプターを使用して、ネットワーク接続を行うことができます。仮想プライベート・ネットワーク (VPN) 接続もサポートされます。PC をさまざまな場所に移動するたびにロケーション・プロファイルを切り替えることによってネットワークに素早く簡単に接続できるので、手動でネットワーク設定値を再構成する必要はありません。ロケーション・プロファイルは、高度なセキュリティー、プリンター、アプリケーションの自動起動などを設定することができます。

Access Connections には、イーサネット接続とワイヤレス LAN 接続の自動ロケーション切り替えをサポートする機能があります。

機能

Access Connections には、ワイヤレス接続およびネットワーク接続を素早くまた楽に検出できる以下の機能があります。

- **新規ロケーション・プロファイルの作成**

Access Connections には、ロケーション・プロファイルの作成に役立つウィザードがあります。ロケーション・プロファイルは、さまざまなタイプのネットワークに接続するために必要な設定値を定義します。Access Connections を始動すると、「コネクション マネージャー」が開きます。

- **ロケーション・プロファイルと接続状況の表示**

「コネクション マネージャー」ウィンドウを使用して、ロケーション・プロファイルを切り替えながら、Access Connections 内で定義したそれぞれのロケーション・プロファイルに関連するネットワーク接続の状況を表示できます。このウィンドウを開くと、ネットワーク接続の状況と、現在適用されているロケーション・プロファイルのコンポーネントの状況が表示されます。

- **ロケーション・プロファイル間の切り替え**

Access Connections には、ロケーション・プロファイルを変更する機能があります。リストから別のロケーション・プロファイルを選択して接続するだけで、プロファイルを切り替えることができます。進行標識ウィンドウに、接続の状況が表示されます。接続が失敗した場合は、接続の修正に役立つボタンが表示されません。

- **ワイヤレス接続**

Access Connections は、ワイヤレス WAN および Bluetooth に対応しています。第三代携帯電話技術の導入により、ネットワークへの高速ワイヤレス接続を可

能にする有効な代替機能として、ワイヤレス WAN サービスが登場しました。ただし、日本ではこの機能はサポートされていません。

- **ワイヤレス・ネットワークの検索**

Access Connections は、ワイヤレス・アダプターの範囲内にあるワイヤレス・ネットワークを検索できます。この機能は、移動中や公共の場所にいるときに、使用可能なワイヤレス・ネットワークがあるかどうかわからない場合に便利です。検出されたすべてのワイヤレス・ネットワークへの接続を試行でき、接続の試行が成功した場合は、検出されたワイヤレス・ネットワーク名とデフォルト設定値を使用して、ワイヤレス用のロケーション・プロファイルが新規に作成されます。適切な設定値が分かっている場合は、検出されたワイヤレス・ネットワーク用のロケーション・プロファイルを手動で作成することもできます。

- **ロケーション・プロファイルの自動切り替え**

現在適用されているロケーション・プロファイルに関連したネットワークが使用不可になった場合、Access Connections は使用可能なネットワークを検索し、該当するロケーション・プロファイルに自動的に切り替えることができます。ワイヤレスのロケーション・プロファイルとイーサネットのロケーション・プロファイルの間で、自動切り替えが可能です。ワイヤレス優先順位リストを設定することにより、ご使用の PC が複数のワイヤレス・ネットワークの範囲内にある場合、または複数のロケーション・プロファイルが同じワイヤレス・ネットワーク名を使用している場合に、どのワイヤレス・ロケーション・プロファイルをアクティブにするか定義できます。

- **リモートでの配布管理者専用のロケーション・プロファイルの作成**

Access Connections の管理者は、クライアント PC にエクスポートするためのロケーション・プロファイルを定義できます。

システム・トレイに表示される Access Connections のアイコンを使用して、アプリケーションを起動したり、現行ロケーション・プロファイルの状況を表示したり、プロファイルを切り替えたりすることができます。

Access Connections のプロファイル配布に関する考慮事項

ユーザーが接続を試行するさまざまな場所、およびそのロケーションで使用可能な接続の種類に関する情報を収集すると、ユーザーがインポートして直ちに使用することが可能となります。初期イメージで配布できる作業の構成をプロファイルに取り込むことにより、ユーザーは手動でプロファイルを作成することなしにネットワーク接続を即時に利用できます。

新規の管理者機能イネーブラー・ツールは、Access Connections 4.0 またはそれ以降のバージョンで使用可能です。管理者機能により、Access Connections を企業環境で実行すると、ロケーション・プロファイル、グローバル設定、および制御ポリシーを個人または個人のグループに配布するタスクが単純化されます。これらのプロファイルおよび設定値の配布は、初期システム配布時にプリロード・イメージの一部として、またはシステムが現場に設置された後に標準のリモートでの配布の方法を使用して実行できます。

プロファイル配布の要件および仕様

サポートされる ThinkPad® およびワイヤレス WLAN と WAN ドライバーの現行リストを表示するには、次のサイトに進みます。

<http://www.lenovo.com/pc/support/site.wss/migr-4z1njb.html#require>
(英語のサイトです)

Access Connections のプロファイル配布機能

以下のリストは、IT 管理者が Access Connections を配布および管理する上で役立つ機能を示しています。

- Access Connections 管理者プロファイル配布用イネーブラーは、クライアント・ユーザー用に作成したロケーション・プロファイルを配布するために必要です。Access Connections のイネーブラーは、次のサイトで IT 管理者のみを対象に提供されています。

<http://www.lenovo.com/pc/support/site.wss/document.do?lndocid=ACON-DEPLOY>
(英語のサイトです)

注: Access Connections のイネーブラーを取得する方法の詳細については、7 ページの『第 3 章 管理者機能を使用する』を参照してください。

- 管理者は、ロケーション・プロファイルを作成して、プリロード・イメージの一部として配布するか、クライアント・システムが配布された後にインストールできます。
- 制御ポリシーを各プロファイルごとに設定できます。
- 配布制御リストを作成して、さまざまな配布パッケージをインポートできるユーザーを制限できます。
- クライアント構成ポリシーを設定して、クライアント PC での Access Connections の操作を構成できます。
- 配布パッケージは、暗号化され、パスワードで保護されているので、許可された個人のみがワイヤレス・セキュリティー情報 (たとえば WEP や静的パスワードなど) を含むロケーション・プロファイルをインポートできます。

第 2 章 Access Connections のインストール

Access Connections のインストール手順が、以下に説明してあります。Access Connections 統合パッケージのインストールに関しては、21 ページの『付録 B. 統合パッケージ』を参照してください。

Access Connections のサイレント・インストール

Access Connections をサイレント・インストールする手順は、以下のとおりです。

1. Microsoft® Windows® 2000 または Windows XP を起動し、管理者権限でログオンします。
2. Access Connections のソフトウェア・パッケージをハードディスクに解凍します。例: C:\Drivers\W2k\Accon
3. 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
4. 以下のコマンドを使用して、Access Connections をインストールします。
 - a. 手動でインストールするには、次のように入力します。
<path>%Setup.exe
 - b. インストール・ログのデフォルト・パスでサイレント・インストールを行なうには、次のように入力します。
<path>%Setup.exe -s-sms-f2x
 - c. 指定したログ・パスのカスタマイズしたセットアップ・スクリプトでサイレント・インストールを行なうには、次のように入力します。
<path>%Setup.exe -s-sms-f1<fullpath>%setup.iss-f2<path>%setup.log.

Access Connections のアンインストール

Access Connections をアンインストールする手順は、以下のとおりです。

1. Windows 2000 または Windows XP を起動し、管理者権限でログオンします。
2. 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
3. 次のコマンドで、Access Connections をアンインストールします。
 - a. 手動でアンインストールするには、次のようにします。
 - 1) 「スタート」→「設定」→「コントロール パネル」から「プログラムの追加と削除」を選びます。
 - 2) インストールされているプログラムの中から「ThinkVantage Access Connections」を選び、「変更と削除」ボタンを押して削除を行います。
 - b. カスタマイズしたスクリプトでサイレント・アンインストールを行なうには、
 - 1) 以下の手順を実行して、uninst.iss ファイルを作成します。
 - a) Access Connections のインストール・ディレクトリーに進み、setup.exe -r -remove を実行します。

- b) プロンプトが表示されたら、「アンインストール」をクリックします。
 - c) システムを後で再起動するには、「いいえ」をクリックします。これにより、自動再起動が回避されます。
 - d) C:\Windows\Setup.iss で生成したスクリプト・ファイルを、ローカル・ディレクトリーにコピーします。
 - e) スクリプト・ファイルを uninst.iss に名前変更します。
- 2) 次のコマンドを入力します。
- ```
<path>%SETUP.EXE -s -sms - remove -f1<fullpath>%uninst.iss
```

## 第 3 章 管理者機能を使用する

### 管理者機能を使用可能にする

Access Connections の管理者機能を使用可能にするには、まず Access Connections をドナー PC にインストールする必要があります。

ワイヤレス・ネットワーク接続を使用するロケーション・プロファイルを配布する場合、ドナーおよび受信側に、ロケーション・プロファイルで定義される機能をサポートしているワイヤレス・アダプターが組み込まれている必要があります。たとえば、配布されたロケーション・プロファイルが LEAP 認証用に構成されている場合、受信側システムのアダプターは LEAP 認証をサポートしている必要があります。

管理者機能を使用可能にするには、管理者機能イネーブラーをダウンロードしてインストールします。次の Web サイトからダウンロードできます。

<http://www.lenovo.com/pc/support/site.wss/document.do?lndocid=ACON-DEPLOY>  
(英語のサイトです)

ダウンロードを実行すると、AdmEnblr.exe が Access Connections のインストール・フォルダーに解凍されます (デフォルトのパスは、C:\Program Files\Thinkpad\ConnectUtilities)。管理者機能を使用可能にするには、以下の手順を実行します。

1. フォルダーを開いて、AdmEnblr.exe を実行します。
2. 以下のメッセージが表示されます。



図 1. 「管理者機能を使用可能にする」ウィンドウ

3. 「管理者機能を使用可能にする」をクリックします。
4. 「終了」をクリックして、イネーブラーを閉じます。
5. Access Connections を開始します。

## 管理者機能を使用する

管理者機能を使用するには、以下の手順を実行します。

1. ユーザーが必要とするすべてのロケーション・プロファイルを作成します。プロファイルを作成する際は、以下を考慮してください。
  - a. オフィスでの接続
  - b. 自宅での接続
  - c. 支社や営業所などでの接続
  - d. 移動中の接続
  - e. ホット・スポットでの接続
2. ロケーション・プロファイルを作成した後、「プロファイル配布」→「配布パッケージの作成」をクリックします。

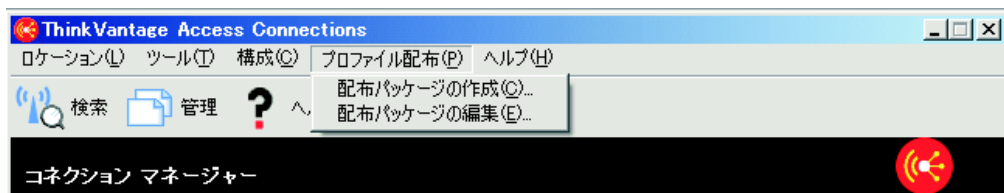


図2. 配布パッケージの作成

3. 配布するロケーション・プロファイルを選択します。図 3 に示すように、選択した各ロケーション・プロファイルごとに、適切なユーザー・アクセス・ポリシーを選択します。選択したプロファイルに暗号化が使用可能にされたワイヤレス・プロファイルが含まれる場合、管理者にワイヤレス設定を再入力するようプロンプトが表示されたら、機密データが公開されていないことを確認します。

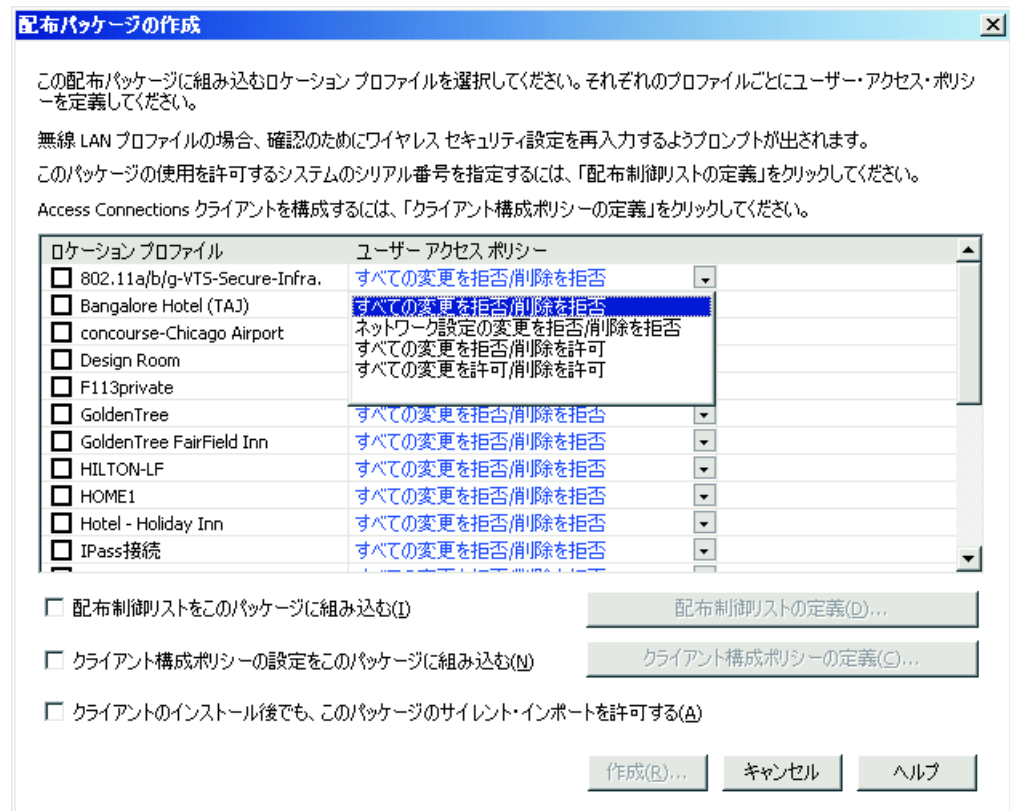


図 3. 「配布パッケージの作成」 ウィンドウ

ユーザー・アクセス・ポリシーは、特定のプロファイルを対象とする制約事項を定義します。以下の選択肢があり、プロファイルごとに定義できます。

- すべての変更を拒否/削除を拒否:** ユーザーは、プロファイルで変更、コピー、または削除などの操作を実行することができません。
- ネットワーク設定の変更を拒否/削除を拒否:** プロファイルのネットワーク設定値を変更、削除、またはコピーできません。変更不可能なパラメーターは TCP/IP 設定、拡張 TCP/IP 設定、およびワイヤレス設定です。プロファイルを削除できません。
- すべての変更を拒否/削除を許可:** ユーザーはプロファイルを変更またはコピーできません。ただし、ユーザーはプロファイルを削除することができます。
- すべての変更を許可/削除を許可:** ユーザーは、プロファイルを変更、コピー、および削除できます。

4. 配布制御リストをこのパッケージに組み込む: PC のシリアル番号に基づいて配布制御リストを定義します。この配布の方法により、管理者は個別のシリアル番号を入力するか、さまざまなロケーション・プロファイルを必要とする、さまざまなユーザー組織を表す、さまざまなグループのシリアル番号を作成できます。このオプションは、プロファイル・ロケーション・ファイル (\*.LOA) がリモート・ユーザーに手動インポート用に送信される際、ファイルの配布を保護することを主な目的としています。配布制御リストにより、個人が適切なネットワーク接続プロファイルのみをインストールすることが保証されます。配布制御リストは、特定の指定したシステム・ユニットにのみプロファイルの利用を制限する目的に利用します。

配布制御リストの定義

以下のシリアル番号を持つシステムのみがこのパッケージ・ファイルをインポートできます。

許可されたシリアル番号(S):

AA-XX456

削除(R)

許可されるシリアル番号の追加

個々のシリアル番号(I)

追加(A)

シリアル番号のグループ(G)

(「グループの作成」をクリック)

追加(A)

グループの作成(C)...

グループの編集(E)...

グループの削除(D)

OK(O)

キャンセル

図 4. 配布制御リストの定義



5. クライアント構成ポリシーの設定をこのパッケージに組み込む: \*.LOA ファイルがインポートされた後に、ユーザーに対して使用可能になる機能を制御するクライアント構成ポリシーを定義します。

注: 「クライアントが Access Connections 管理者になることを許可しない:」の横のボックスにマークを付けると、ユーザーが Access Connections のインストール時に管理者機能を使用可能にすることを防ぎます。この設定は、規模の大きな企業環境で IT 管理者が他者によるネットワーク・アクセス・プロファイルの作成および配布を防ぎたい場合に役立ちます。

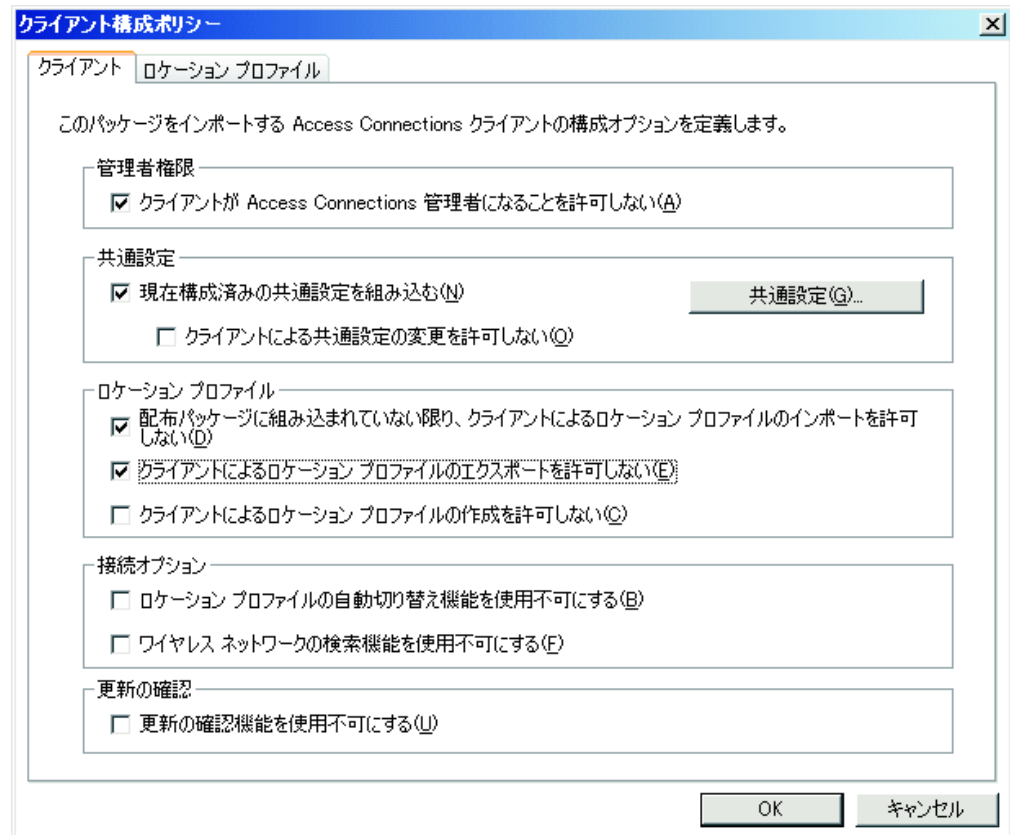


図5. クライアント構成ポリシーの定義

注: クライアント構成ポリシーのパネルで、管理者は Access Connections の共通設定を設定できます。限定されたユーザーに、プロファイルを作成および適用する資格を与えるには、管理者は、Access Connections の提供する様々な共通設定のオプションをポリシーとして設定することができます。

6. **グループの作成:** シリアル番号のグループを作成する場合、シリアル番号のグループを含むフラット・テキスト・ファイルをインポートできます。ファイルは、各行に単一のシリアル番号が含まれているようにフォーマット設定されている必要があります。これらのテキスト・ファイルは、管理者機能を使用して作成されたリストをエクスポートして、または資産管理システムにそのような機能があれば使用して作成できます。これにより、多数の PC への配布をシリアル番号に基づいて制御するプロセスが単純化されます。

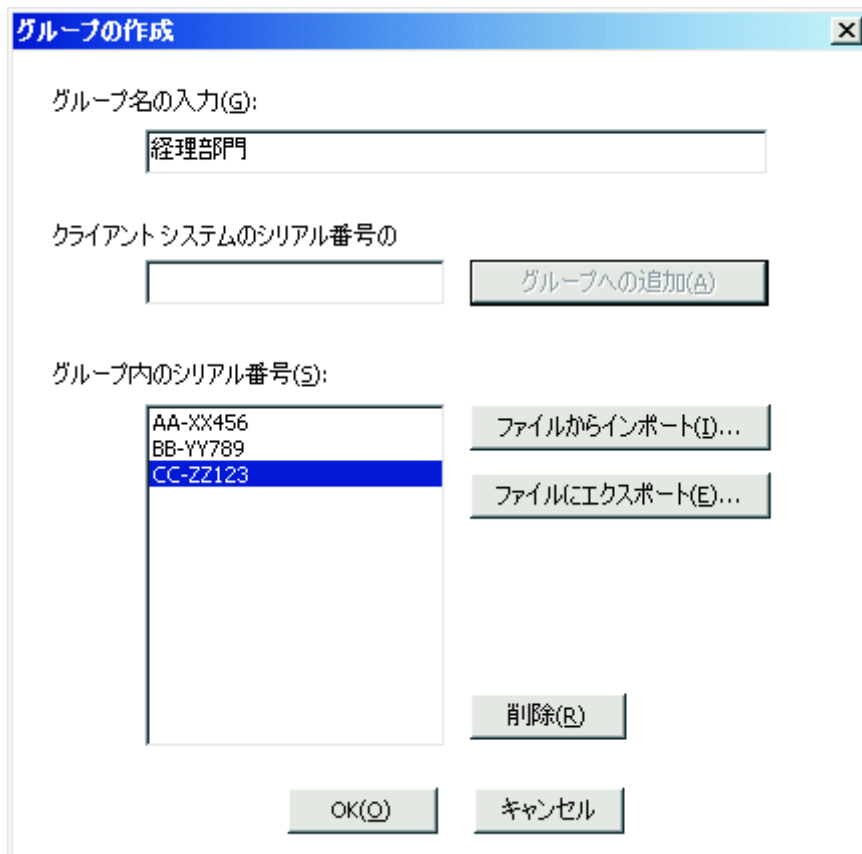


図 6. グループの作成

7. **クライアントのインストール後でも、このパッケージのサイレント・インポートを許可する:** デフォルトでは、一度インストールされた Access Connections で、\*.LOA ファイルにあるいずれのプロファイルもインポートできません。9 ページの図 3 のチェック・ボックスで作成された配布パッケージ (\*.LOA ファイルと \*.SIG ファイルからなる) は Access Connections のインストール・フォルダーにコピーでき、次回の再起動時に検出およびインポートが自動的に行われます。

- 「ロケーション・プロファイル」セクションで、ブラウザのホーム・ページまたはプロキシ設定を設定するのに「**ブラウザのホーム・ページの設定**」および「**プロキシ設定**」オプションにチェック・マークを付けることで、ブラウザのホーム・ページまたはプロキシを設定するクライアント機能を使用不可にできます。

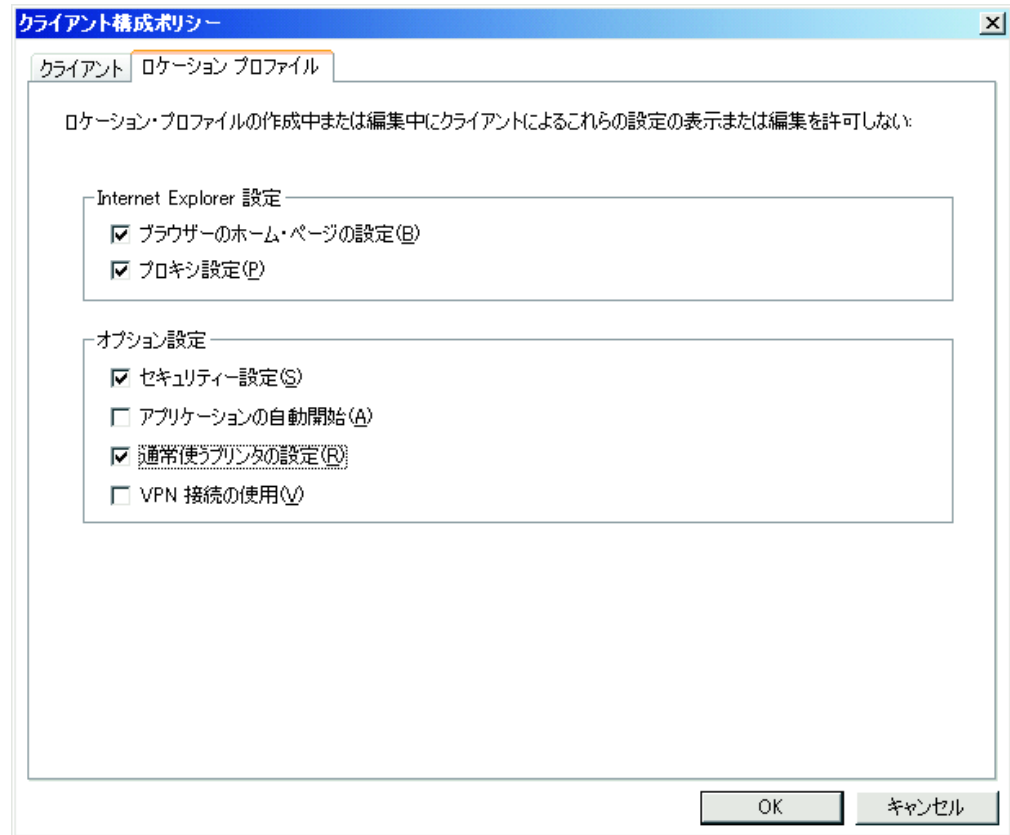


図7. ロケーション・プロファイルの定義

- 「ロケーション・プロファイル」セクションのオプション設定で、クライアントが、セキュリティー設定を行ったり、特定のアプリケーションを自動的に開始したり、プリンターを設定したり、VPN 接続の使用を有効にする機能を使用不可にすることができます。
- 「クライアント構成ポリシー」ウィンドウで、すべての必要な設定を指定した後に「**作成**」をクリックします。パスフレーズ・プロンプトが表示されます。パスフレーズ (パスワード) は \*.LOA ファイルを暗号化するのに使用されます。クライアント・システム上に配布パッケージ (\*.LOA) をインポートするには、これと同じパスフレーズ (パスワード) が必要です。配布パッケージを自動的にインポートするのに必要な \*.SIG ファイルでも、パスフレーズ (パスワード) は暗号化されます。
- 配布に必要な .LOA ファイルおよび .SIG ファイルは、デフォルトで、C:\Program Files\Thinkpad\ConnectionUtilities\Loa ディレクトリーに保管されま

**重要:** イメージの配布の場合、\*.LOA ファイルは Access Connections インストール・ディレクトリー (C:¥PROGRAM FILES¥THINKPAD¥CONNECTUTILITIES) に存在している必要があります。

---

## 第 4 章 Access Connections のプロファイル配布

クライアント・ユーザーに必要なロケーション・プロファイルを作成した後、ロケーション・プロファイルを新規作成、更新、または改訂して管理し、クライアント PC に配布することもできます。以下の例は、Access Connections を配布する方法を説明しています。

- 新規クライアント PC 上の Access Connections およびロケーション・プロファイルを配布します。
- Access Connections を稼働させ、既存のクライアント PC 上のロケーション・プロファイルおよびクライアント・ポリシーを配布します。
- 既存のクライアント PC 上で、既存の Access Connections をアップグレードして、ロケーション・プロファイルを移行します。

---

### 新規 PC 上への配布

Access Connections がインストールされていない新規の PC 上で、Access Connections ロケーション・プロファイルを配布するには、次のようにします。

1. Access Connections 配布パッケージ (\*.LOA と \*.SIG) を、7 ページの『第 3 章 管理者機能を使用する』に記載されているように、望ましいユーザー・アクセス・ポリシーおよびクライアント構成ポリシーを含んだロケーション・プロファイルで作成します。サイレント・インポートの場合、.LOA ファイルを作成する間、「クライアントのインストール後でも、このパッケージのサイレント・インポートを許可する」設定を有効にします。
2. 21 ページの『付録 B. 統合パッケージ』に記載されているように、Access Connections、ワイヤレス LAN ドライバー/アプリケーション、ホット・キー Fn+F5 ユーティリティ、および省電力ドライバーで、統合パッケージを作成します。
3. 統合パッケージの CONWIZ フォルダーに、配布パッケージ (.LOA ファイルと .SIG ファイル) を含めます。統合パッケージに、配布パッケージを組み込まない選択もでき、代わりに、統合パッケージまたは Access Connections のインストール後、それらを Access Connections のインストール・ディレクトリー (デフォルトのインストール・ディレクトリーは、C:\Program Files\ThinkPad\ConnectUtilities) にコピーできます。
4. 21 ページの『付録 B. 統合パッケージ』に記載されているように、手動またはサイレント・インストールで統合パッケージを導入します。
5. システムの再起動後、Access Connections は自動的に稼働し、配布パッケージの検出およびサイレント・インポートを行ないます。サイレント・インポート・オプションが選択されていない場合、ユーザーはプロファイルの管理ウィンドウでインポートを選択し、プロンプトが表示されたときに、管理者によってパッケージを作成するのに使用されたのと同じパスワード (パスワード) を提供することによって、パッケージを手動でインポートすることを選択できます。

## 既存クライアント PC への配布

Access Connections がすでにインストール済みで稼働している既存の PC 上で Access Connections ロケーション・プロファイルを配布するには、以下のステップを実行します。

1. Access Connections 配布パッケージ (\*.LOA と \*.SIG) を、これに先立つ、7 ページの『第 3 章 管理者機能を使用する』に記載されているように、望ましいユーザー・アクセス・ポリシーおよびクライアント構成ポリシーを含んだロケーション・プロファイルで作成します。クライアント構成ポリシーのみを変更する必要がある場合は、プロファイルをエクスポートせずに、変更したクライアント構成ポリシーのみを組み込んだ、配布パッケージを作成できます。サイレント・インポートの場合、.LOA ファイルを作成する間、「**クライアントのインストール後でも、このパッケージのサイレント・インポートを許可する**」設定を有効にします。
2. 配布パッケージ (\*.LOA と \*.SIG) を既存のクライアント PC の Access Connections のインストール・ディレクトリー (デフォルトのインストール・ディレクトリーは、C:\Program Files\ThinkPad\ConnectUtilities) にコピーします。
3. システムの再起動後、Access Connections は自動的に稼働し、配布パッケージの検出およびパッケージのインポートを行ないます。以下のコマンドで、インポートを強制できます。

```
<path> %qctray.exe /importsilently
<path> %qctray.exe /killac
<path> %qctray.exe /startac
```

## ロックされたプロファイルの削除

ロックされた Access Connections のプロファイルを削除するには、2 とおりの方法があります。

1. クライアント・システム上の追加/削除プログラムで、プロファイルを持つ Access Connections をアンインストールします。
2. ロックされたプロファイルをリモートで削除するには、以下のステップを実行します。
  - オリジナルに配布された .LOA と同じ名前と同じパスフレーズ (パスワード) を持つ、別のアンロックされた .LOA プロファイルを作成します。
  - この新規に作成した .LOA プロファイルを、クライアント・システムに配布します。
  - 次のコマンドを使用して、プロファイルを削除します。

```
<path>%qctray.exe/del<location profile name>
```

## 配布したプロファイルの更新

現在配布済みのプロファイルを、新規暗号化およびセキュリティー設定へと更新するには、オリジナルに配布された .LOA プロファイルと同じ名前と同じパスフレーズ (パスワード) を持つ、別の .LOA プロファイルを作成する必要があります。この新規に作成した .LOA を、クライアント・システムに配布します。

---

## 既存の PC 上の Access Connections のアップグレード

既存のクライアント PC 上で、Access Connections を新規バージョンにアップグレードし、既存のロケーション・プロファイルに移行するには、以下のステップを実行します。

1. 21 ページの『付録 B. 統合パッケージ』に記載されているように、Access Connections の新規バージョン、ワイヤレス LAN ドライバー/ アプリケーションの推奨バージョン、ホット・キー Fn+F5 ユーティリティ、および省電力ドライバーで、統合パッケージを作成します。
2. 21 ページの『付録 B. 統合パッケージ』に記載されているように、手動またはサイレント・インストールで統合パッケージを導入します。こうすると、ロケーション・プロファイルを削除せずに、古いバージョンの上にインストールされ、他の既存の設定がすべて保持されます。
3. システムの再起動後、Access Connections は自動的に稼働し、既存のロケーション・プロファイルの検出および新規バージョンへの移行を自動的に行いません。





---

## 付録 A. コマンド行インターフェース

Access Connections では、ロケーション・プロファイルを切り替えたり、ロケーション・プロファイルのインポートまたはエクスポートを行うためにコマンド行入力を行なえます。コマンド・プロンプト・ウィンドウで以下のコマンドを入力することも、他のユーザーが使用できるようにバッチ・ファイルを作成することもできます。これらのコマンドを実行する前に、Access Connections が実行されている必要はありません。

- ロケーション・プロファイルを適用します。  
<path>%qctray.exe/set <location profile name>
- ロケーション・プロファイルを切断します。  
<path>%qctray.exe/reset <location profile name>
- ロケーション・プロファイルを削除します。  
<path>%qctray.exe/del<location profile name>
- ロケーション・プロファイルをインポートします (.LOC 拡張子のファイルのみ有効)。  
<path>%qctray.exe/imp <location profile path>
- 全プロファイルのサイレント・インポートを実行します。  
<path>%qctray.exe/importsilently
- ロケーション・プロファイルをエクスポートします (.LOC 拡張子のファイルのみ有効)。  
<path>%qctray.exe/exp <location profile path>
- ワイヤレス LAN 接続を切断します。ワイヤレス LAN 切断後、ワイヤレス LAN アダプターの無線は ON のままになります。  
<path>%qctray.exe/disconnectwl
- AcMainGUI、AC トレイ、ACWIICON モジュールを閉じます。  
<path>%qctray.exe/exit
- Access Connections をモニター・モードに設定します。モニター・モードでは、Access Connections は接続の制御権を他のアプリケーションに渡します。  
<path>%qctray.exe/setmonitormode
- モニター・モードをリセットします。  
<path>%qctray.exe/resetmonitormode
- すべての Access Connections プロセスを強制終了します。この処理には、管理者権限が必要であるため、コマンドは AcPrfMgrSvc を介して実行され、プロファイル・マネージャー・サービスを除く他の Access Connections プロセスをすべて閉じます。  
<path>%qctray.exe/killac
- すべての Access Connections プロセスを再開します。この処理には、管理者権限が必要であるため、コマンドは AcPrfMgrSvc を介して実行されます。  
<path>%qctray.exe/startac

- ワイヤレス・ネットワークを検索します。  
<path>%qctray.exe /findwlnw
- QCTRAY ヘルプ情報を表示します。  
<path>%qctray.exe /help

---

## 付録 B. 統合パッケージ

Access Communications を導入する場合、ワイヤレス LAN ドライバーなど Access Connections に関連したパッケージを必要に応じて導入する必要があります。Access Connections 統合パッケージはインストール・ファイルを一括にすることによってインストール処理を単純化するのに使用されます。

---

### Access Connections 統合パッケージ

このシナリオは、ユーザーの対話を必要とせずに Access Connections 統合パッケージをインストールする方法についての情報を提供します。この統合パッケージをインストールするには、Access Connections バージョン 3.82 を入手してください。Access Connections バージョン 3.82 は、次の Lenovo Web サイトの「Previous version downloads」セクションから入手できます。

<http://www.lenovo.com/pc/support/site.wss/migr-4z1njb.html>  
(英語のサイトです)

1. 次のパッケージをダウンロードします。

Access Connections version 3.82 with wireless drivers

このパッケージには Access Connections の以前のバージョンと関連ドライバー、および統合パッケージ・インストールの作成に必要なセットアップ・ユーティリティー・ファイルが含まれています。ダウンロード実行可能プログラムを実行してパッケージを解凍します。モジュールが解凍されるデフォルト・ディレクトリは C:\Drivers\W2K\ACCONWLD です。

2. 以下をそれぞれダウンロードして、解凍します。

- **Access Connections** (最新バージョン)

Access Connections の最新バージョンは、次の Lenovo Web サイトからダウンロードできます。

<http://www.lenovo.com/pc/support/site.wss/migr-4z1njb.html>  
(英語のサイトです)

- **ホット・キー・ユーティリティー**

ホット・キー・ユーティリティーは、次のサイトからダウンロードできます。

<http://www.lenovo.com/pc/support/site.wss/document.do?&ln docid=MIGR-38953>

- **省電力ドライバー**

省電力ドライバーは、次のサイトからダウンロードできます。

<http://www.lenovo.com/pc/support/site.wss/document.do?&ln docid=MIGR-4GXPEG>

- **ワイヤレス LAN ドライバー**

ご使用のシステムに必要なワイヤレス LAN ドライバーについては、次の Lenovo Web サイトでワイヤレス・ドライバーの表を参照してください。

<http://www.lenovo.com/pc/support/site.wss/document.do?&ln docid=MIGR-4ZLNJB>

3. C:\Drivers\W2k\ACCONWLD ディレクトリーから以下のフォルダーを削除します。
  - Conwiz
  - IBMPM
  - ホット・キー・ユーティリティー・パッケージの OSD サブフォルダー
  - ワイヤレス LAN ドライバー (WLANCX2、WLLANATH、または WLLANINT など)
4. 解凍した場所から以下のフォルダーをコピーして、C:\Drivers\W2k\ACCONWLD ディレクトリーに配置します。
  - Access Connections の **Conwiz**。
  - 省電力の **IBMPM**。
  - ホット・キー・ユーティリティー・パッケージおよびオンスクリーン・ディスプレイの **OSD**。
  - ステップ 2 で解凍したすべての**ワイヤレス LAN ドライバー** (WLANCX2、WLLANATH、または WLLANINT など)。ディレクトリー内のすべてのドライバーではなく、ご使用のワイヤレス・システムに必要なドライバーのみを置換します。

**注:** このパッケージは、インストールを準備するためにカスタマイズすることができ、ソフトウェア導入支援が含まれています。ソフトウェア導入支援は、ご使用のサブディレクトリーでワイヤレス・ドライバー、Access Connections、および省電力の最新バージョンを検索します。

5. 次のコマンドで、Access Connections 統合パッケージをインストールします。
  - a. 手動でインストールするには、次のように入力します。

```
<path>%setup.exe
```
  - b. インストールの最後にシステム再起動用のプロンプトを表示してすべての関連パッケージのサイレント・インストールを行なうには、次のように入力します。

```
<path>%Setup.exe /D /H /R
```
  - c. 再起動しないで関連パッケージのサイレント・インストールを行なうには、次のように入力します。インストールを完了するためには、再起動が必要です。

```
<path>%Setup.exe /S /H /R:0
```
  - d. 最後に強制システム再起動ですべての関連パッケージのサイレント・インストールを行なうには、次のように入力します。

```
<path>%Setup.exe /S /H /R:2
```

---

## ディレクトリー構造

以下のファイルは、ダウンロードしたパッケージを解凍したフォルダーの中に置いてあります。統合パッケージが解凍されると、ACCONWLD の下に以下の各パッケージを含むサブディレクトリーが作成されます。

- CONWIZ は、メインの Access Connections アプリケーション・ファイルを含むフォルダーです。
- IBMPM は、省電力ドライバー・ファイルを含むフォルダーです。
- OSD は、Fn+F5 ホット・キー・ユーティリティー・セットアップなどのオンスクリーン・ディスプレイ・ユーティリティーを含むフォルダーです。
- WLANCX2 は、インテル® プロ/ワイヤレス・ドライバー (11a/b/g および 11b/g) を含むフォルダーです。
- WLLANATH は、ThinkPad ワイヤレス LAN アダプター・ソフトウェア (11a/b、11b/g、および 11a/b/g) セットアップを含むフォルダーです。
- WLLANINT は、インテル プロ/ワイヤレス LAN 2100 3B ミニ PCI アダプター・ドライバー・セットアップ (Intel 11b) を含むフォルダーです。



---

## 付録 C. 特記事項

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、レノボ・ジャパンの営業担当員にお尋ねください。本書で Lenovo 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その Lenovo 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、Lenovo の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、Lenovo 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

Lenovo は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

*Intellectual Property Licensing  
Lenovo Group Ltd.  
3039 Cornwallis Road  
Research Triangle Park, NC 27709  
USA  
Attention: Dennis McBride*

Lenovo およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。Lenovo は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書で説明される製品は、誤動作により人的な傷害または死亡を招く可能性のある移植またはその他の生命維持アプリケーションで使用されることを意図していません。本書に記載される情報が、Lenovo 製品仕様または保証に影響を与える、またはこれらを変更することはありません。本書におけるいかなる記述も、Lenovo あるいは第三者の知的所有権に基づく明示または黙示の使用許諾と補償を意味するものではありません。本書に記載されるすべての情報は、特定の環境において得られたものであり、例として提示されます。他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。

Lenovo は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本書において Lenovo 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この Lenovo 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

---

## 商標

以下は、Lenovo Corporation の商標です。

Access Connections

Lenovo

ThinkVantage™

ThinkPad

IBM は、IBM Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Intel は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。